

# 賃上げにこだわって たたかいをすすめよう

私たちの生活を見渡しても、「アベノミクス効果」なるものは、全く感じられません。生活実態は依然として厳しい状況が続いています。

14国民春闘の最大要求は「賃上げ」です。4月から消費税が増税されるもとでは、実質賃金は下がります。今こそ、大幅賃上げの実現で、地域経済の活性化、市民生活の改善、職員の生活改善を勝ち取りましょう。

官民一体での取り組みをすすめ、正規も非正規も、すべての働く人たちとともに14春闘を、職場・地域から大いにすすめましょう。

泉佐野市長の度重なる不当労働行為に抗議する3月6日の宣伝行動。訴えるのは、大阪労連・宮武正次副議長



泉佐野市長への抗議宣伝行動に参加した大阪労連・大阪自治労連・地域住民のみなさん



春闘での奮闘の決意表明をする泉佐野市職労・尾馬正積執行委員長（右）



# 保育制度の改悪許さない 熱い思いを「速報」に

「第22回自治体保育労働者の全国集会inおおさか」速報係のみなさん



後列左から立田優さん（藤井寺市職労）、堀場奈緒子さん（高石市職労）、沖田京子さん（藤井寺市職労）、阿部由紀子さん（泉佐野市職労）、前列左から永井拓馬さん（泉佐野市職労）、鬼追亜紀子さん（藤井寺市職労）、皆川美沙紀さん（藤井寺市職労）、三浦香織さん（守口市職労）

保育制度の大改悪が進められようとする中、11000人の参加で成功した「第22回自治体保育労働者の全国集会inおおさか」（3面参照）。集会の内容をリアルタイムで参加者に届けるため活躍した「速報」の8人に、感想を聞きました。



それぞれの得意分野を生かし 協力しあって

速報係リーダーの鬼追亜紀子さんは「メンバーのほとんどが初めての速報係、また1000人規模の全国集会と、不安な気持ちでいっぱいでした。集会の直前に速報係だけで集まり、役割分担や紙面の割り振りなどの打ち合わせを進める中で、『速報』の形が見えていきました。当日は打ち合わせ通り、担当の記事を集めたり、写真撮影をしたりと、どんどん動き回りました。記事が集まると、早速パソコンに入力したりイラストを描いたり、それぞれが自分の得意分野を生かして作業を進め、素敵な速報ができました。最終号ではハプニングもあり終了時間ギリギリのでき上がりでしたが、速報係全員で力を合わせて乗り切りました」と、連日の奮闘を語ります。速報をつくった経験は、今後も生かされるはず。期待しています！

## バタバタ わくわく ドキドキ…速報メンバーの感想

- 一緒に作る作業を通して仲間意識がめばえ、それぞれの得意を活かして楽しかったです。また機会があれば速報係をしてみたい。（阿部由紀子さん）
- みんなで支え合うからこそ実感できる経験ができました。色々ドラマもあり、楽しく過ごせた2日間でした。（永井拓馬さん）
- 協力して作り上げた速報が、集会参加者の手もとに届いた時は本当にうれしかったです！（沖田京子さん）
- インタビューや講演の内容を、限られた時間で記事にするのはとても難かったのですが、全国の熱い想いに励まされました。（立田優さん）
- 和気あいあいでもっと楽しかったです！他市の先生方と色々な話ができて、新しいパソコンの技法も教わり勉強になりました。（三浦香織さん）
- 取材した記事がどんどん速報になっていくのに感動です。私も2本記事を書き、帰ってから速報を何回も読み返しました。（堀場奈緒子さん）
- 集会の内容を伝えたい、盛り上げたいという思いで良い経験になり、自信ができました。つながりの大切さも改めて感じました。（皆川美沙紀さん）